

## 全国に先駆けて「47GHz トランスバーター」製作技術講習会実施

JARL 愛媛県支部主催で、47GHz トランスバーター製作技術講習会が、全国に先回けて平成 10 年 10 月 25 日(日)愛媛厚生年金休暇センターで、17 名の参加で開催されました。

JARL 愛媛県支部では、昭和 53 年に 1.2GHz のトランスバーターの製作技術講習会を実施して以来、毎年マキ電機の技術支援を得てマイクロ波帯のトランスバーターの製作を実施しており、今年はいよいよ EHF 帯の 47GHz トランスバーターの製作を行った。

当日は出来上がったトランスバーターを早速試験運用をする局もあり、47G 製作の難しさを痛感した。

なお、平成 7 年 1 月に発足した「松山地区 SHF 研究会」による 5.6GHz のロールコールも継続実施しており、5.6GHz の開局する者も着実に広がっています。今後、松山地区を中心に、SHF/EHF 帯の開局が広がっていくものと楽しみにしております。

以上 平成 10 年 11 月 5 日

松山地区 SHF 研究会事務局

JR5EEK 仙波潜夫 TEL/FAX 089-958-2517



## マイクロエーブミーティング・イン松山'98 開催

平成 10 年 10 月 24 日(土)松山地区のマイクロエーブの愛好者が集まり・ミーティングを開催しました。参加者は 12 局で、その中には、別府中から JI6DRF 大橋さん、広見町から JA5SGY、久万町から JR5MRT 高岡さん、これに遠路はるばる川崎市からマキ電機社長の JH1UGH 楨岡さん夫妻の参加をいただきました。今回のミーティングの内容はつぎのとおりです。

### 記

1. 愛媛県内のマイクロ波帯の動向について (JARL 愛媛県支部長/松本 JA5AH)
2. 松山地区 SHF 研究会の活動内容のについて (松山地区 SHF 研究会代表 久山 JA5JSU)
3. 参加者の自己紹介(各局)
4. 全国のマイクロ波帯の現状・明日実施する 47GHz トランスバーターの製作について (マキ電機社長 JH1UGF)
5. 継続中の、松山地区 5.6GHz ロールコールの現状と今後の目標について (松山地区 SHF 研究会事務局 JR5EEK)
6. 平成 11 年度の製作講習会について
7. その他

以上 平成 10 年 11 月 28 日

松山軸区 SHF 研究会事務局

JR5EEK 仙波満夫 TEL/FAX 089-958-2517



松山 5.6GHz ロールコールのその後です。

松山 SHF 研究会では、キー局に JA5JSU(久山)局を中心に、平成 7 年 1 月 13 日(金曜日) PM:9 時から開始したロールコールも、平成 10 年 11 月 27 日で第 203 回目を迎えた。冬期は開始時間を 1 時間早めて実施し、各局のオンエアーの出来やすい雰囲気づくりをしながら楽しいロールコールをしている。時には、山口県岩国市から、ある時は大分県別府市から、新居浜市の局が移動でチェックインがあり、また四国山地の峠まで移動してチェックインされる局もある。

平成 7 年 5 月 2 日には、座間市の JSIU VH 大矢さん/4 広島県豊田郡野呂山からロールコールにチェックインされ、松山 SHF 研究会各局と 2.4GHz に始まり、延々 2 日間に及び 10.1GHz までのエキサイティングな交信をし、ドラマチックなロールコールを体験した。

ともすればマンネリ化になりがちなロールコールに活力が蘇る時がある。平成 7 年 9 月には念願の JH1UGF/5(槇岡さん)との有意義な交信を行い、ロールコール以外では、平成 8 年 4 月東京都練馬区の荒川さん/6 別府市と松山地区 SHF 研究会メンバーとの FMATV(1.2G,2.4G,5.6G)の交信に成功し成果を上げ、平成 8 年 7 月には東京都江戸川区の JH1FJK 稲葉さんと 2.4GHz で QSO し、ぜひ時間を作って松山ロールコールにチェックインされるよう案内をし、5.6GHz での再会を心待ちにしている今日この頃である。JARL 愛媛県支部では、1.2GHz から始まって 47GHz までのトランスバーター製作技術講習会を毎年行ってきた。

今年(平成 10 年)10 月 25 日(日)実施の 47GHz 製作技術講習会を行い、9 局が開局され、5.6GHz 部門では、3 局が新たに開局された。地方での 5.6GHz ロールコールは開局数が少なく多様な内容には乏しいが、反面中味のあるミーティングを信条としている。

松山地区 5.6GHz ロールコールは毎週金曜日午後 9 時 00 分～午後 10 時まで実施しており、周波数は 5760,00MHz でコールして下さい。なお、連絡周波数は 2427.08MHz で待機しておりますのでコール下さい。2400MHz 開局の方も気軽に参加して下さい。次の目標は、10.1GHz のロールコールの実施です。

松山地区 SHF 研究会メンバーは別紙の通りです。

平成 10 年 11 月 27 日 松山地区 SHF 研究会事務局 JR5EEK 仙波満夫

## 5.6GHz「10.1GHz 帯」伝搬通信実験報告

(富士山を含む・東海・近畿・中国・四国・九州・広域)

東海地方以西のマイクロウェーブマンが、SHF 帯の電波伝搬通信実験を 9 月 6 日(日)に実施した。

当日・松山市は午前 3 時頃より小雨が降り始めた。

当初の移動通用地点は・西日本最高峰「石鎚山 1982m」に、松山地区 SHF 研究会のメンバー 7 局が移動する予定であったが、雨天のため 2 局(JR5EEK/JR5MRT)が運用地点を急遽変更し・雨の中「瓶ヶ森 1896.5m」山頂に移動した。瓶ヶ森は一面熊笹に覆われ、男山と女山に分れており・男山は険しく標高約 1840m で、瓶ヶ森山頂にある女山はなだらかであり草木はなく、無線設備をセットするには絶好の地であった。当日雨天にもかかわらず伊予三島市、川之江市、東予各市街地、高縄山系、皿ヶ峰山系、高知県の山々が一望でき気分爽快であった。

今回の、伝搬通信実験の各地域の移動局はつぎのとおりである。

(促し、雨天のため当初の移動地点から変更を余儀なくされた地域もある。)

富士山五合目に/JH1UGF・滋賀県伊吹山に/JI2DQT 外(東海マイクロ波同好会)・東大阪生駒山に/JF3WZT 外(東大阪マイクロウェーブメンバー)・岡山県玉野市に/JA4UBW 外(倉敷マイクロウェーブメンバー)・愛媛県瓶ヶ森に/JR5EEK・JR5MRT(松山地区 SHF 研究会メンバー)・大分県東国東郡に/JI6DRF(大分マイクロウェーブメンバー)が移動した。

今回の、伝搬通信実験は、東海マイクロ波同好会(滋賀県伊吹山)と東大阪マイクロ波メンバーとの実験が目的であったが天候不良のため、瓶ヶ森と東国東郡、約 155km 間の実験で終わり、当初の目的の通信実験は出来ず下山した。通信実験は出来なかったが、移動する前日までの連絡等でマイクロ波の愛好家との意思の疎通が出来よかった。

晴天であれば素晴らしい通信実験ができたのではないかと悔やまれた。

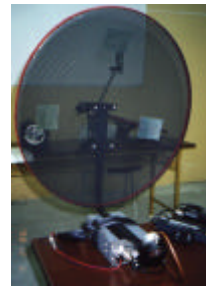
次回の実験はぜひ成功させたいものである。

平成 10 年 9 月 10 日

〒790-0921 松山市福音寺町 608 番地 3TEL/FAX 089-958-2517

松山地区 SHF 研究会事務局 JR5EEK 仙波満夫

松山地区 SHF 研究会(JH5ZHR/代表・JA5JSU・久山 出)主催で、5.6GHz/10.1GHz 帯のデュアルアンテナの製作技術講習会が、平成 10 年 12 月 6 日(日)松山市の「四国ネットワーク(株)」に於いて、県内から 13 名の参加があり開催され、また県外 2 局からも照会がありました。



講師は、松山地区 SHF 研究会代表の JA5JSU・久山さんで、CS 用のオフセット型アンテナを利用しての製作をしました。出来栄は大変良く、出来上がった局は、早速トランスバーターにセットして試験運用を行いました。利得も大きく、松山地区 SHF 研究会実施の「5.6GHz」ロールコールで実験をし結果がよければ、瀬戸内海の大対岸の局と通信実験を予定しております。また、5.6GHz/10.1GHz の未開局者は開局準備を計画する局もあり、有意義なアンテナ製作講習会ができました。平成 7 年 1 月に発足した「松山地区 SHF 研究会」による 5.6GHz のロールコールに参加する局が広がっていき、大きくは GHz 帯のバンド防衛にも一役出来るものと思います。今後、松山地区を中心に、SHF/EHF 帯の開局が広がっていくのを楽しみにしております。



以上

平成 10 年 12 月 9 日

松山地区 SHF 研究会事務局

JR5EEK 仙波満夫 TEL/FAX 089-958-2517

